

三重の木を使おう、
森を育てるために



木をよく
知ろう

木と
もっと
親しまおう

木を使おう

三重の林業

題字：三重県知事 野呂 昭彦



熊野原木市場（熊野市）

2011年3月
No. 361

目次

森林政策情報	みえ公共建築物等木材利用方針を策定しました。	2
話題を追って	未来につながるお店「ブルック」オープン	4
話題を追って	森林保全へのスタート	6
話題を追って	山の仕事は楽しい	7
話題を追って	緊急雇用で行う獣害対策	8
話題を追って	尾鷲ヒノキの復権を目指して!	9
話題を追って	大又森林整備協定の締結	10
話題を追って	林業活性化の取組が優秀賞を受賞	10
団体情報提供	望まれる合法木材の需要拡大	11
ミニ情報	「森林と木」のミニ情報	12
連載	頑張ってます!	13
連載	この人に聞く ～第32回・櫻井宏明さん～	14
技術情報	三重県版スギ・ヒノキ人工林システム収穫表の作成	16
木材市況	県内木材市場市況の概況(2月)	18
行事予定	森林・林業関係行事予定表	18

未来につながるお店「ブルック」オープン

～四日市に県産材を利用したインテリアショップ&カフェ出店～

株式会社ブルック 坂 丈 哉

製材会社による、国産・県産材需要の掘り起こしを目的として、三重県では人口も一番多く、県産材の関心がまだまだ低い四日市市の真ん中に、地域のスギやヒノキを利用したオーダー家具をメインとしたインテリアショップ&カフェを出店しました。その出店にいたる背景をご紹介します。

◆私は材木屋三代目で三男

私は、旧関町、現在は亀山市加太の三栄林産株式会社の三代目で三男として生まれ育ちました。現在、長男が跡を継ぎ、大工・工務店にプレカットや国産材の木材料を提供しています。次男は建築士として、三栄林産株式会社内で立ち上げた、建築事業「ノッティーハウスリビング」の責任者となり、国産材・県産材木造住宅の提供、インテリアショップ「ノッティーハウスリビング」の運営に携わっています。三男である私は、ノッティーハウスリビングの運営、住宅建築営業を経て四日市市への出店について携わり、国産材・県産材普及販売の最前線に立つことになりました。

私たち兄弟は、山に囲まれて育ち、小さい頃、創業者である祖父によく山へ連れて行ってもらいました。祖父が山に入るきっかけになったのは、祖父の祖父（ひいひいおじいちゃん）が祖父のために植えた杉やヒノキが育ってきていたからだったそうです。祖父は、私たちのために木を植えていました。今、伐採の時期を迎えつつあるのですが、ご存知のように現在国産材・県産材の需要は、20年30年ほど前とは比べ物にならないほど落ち込み、森の木が使われないことが環境問題としても大きく取りざたされる時代となっています。

私たちは、地域の山から木材を搬出し植林する。そして、供給するというあたりまえのことがもう一度できないか。そしてそうすることが、どういう意味を持ち意義があるのかを考え、多くの人に知ってもらうためにはどうすればよいかを考えてきました。

◆自分が納得した物しか販売しない

材木屋なので、材木を販売しなければならない。しかし、自分が良いと思えないと、販売したくない

し、売れない。国産材や県産材を販売していくことは、地域の活性化やCO₂吸収、固定等の環境問題にもつながります。ただそれで作っただけでは、自分が欲しいと思えなければ販売していくことは難しいと判断していました。そこで、実際に自分が欲しい寸法で、自分が良いと思うデザインで家具を作ってみたのです。いくつもの雑誌や家具の本を見て、製作しました。完成品は自分の想像を超えて、これならお客様に自信を持って提供できると感じさせるに十分な仕上がりでした。



無垢の木の座卓

◆国産・県産材って何ですか？ 杉・ヒノキって何が良いの???

杉・ヒノキの違いは知らない人がほとんどです。国産材・県産材と言われても、あまりピンとこない方がほとんどでしょう。最近こそ、多くのメディアで取りざたされるようになり少しずつ認知されてきたのでしょうか。国産材・県産材を利用すると、住宅ローンで金利が優遇されるなどの措置がなされるようになり、最近住宅を建築される方には意外と認知度が高いかもしれません。しかし、その程度です。ブルックは、内装や什器類、木材という木材はすべて国産・県産材です。まずは、杉ヒノキ関係なく、地域から出てくる本物の木を、多くの人に見てもらい、感じてもらう、触れてもらうことが大切であると感じていました。「こんな良いものが、身近な材料でできる」ということを、何より地域の方に知ってもらうことがスタートであると考えています。何が違うか。ブルックにお越しください。お越しただいただければ、なぜ良いか分かっていただけたと思います。

◆未来につながることは 人とつながることでもある

地域の木材を利用していくことは、森の活性化につながります。森が活性化されると、森はきれいな空気をつくり地下水をつくってきれいな水をつくります。それらは、私たちが生きていくうえで不可欠な資源を供給してくれているといっても過言ではありません。自分が欲しいものは遠くから運ばれてくるものではなく、地域の資源を利用して、世界に一つしかない物をつくりだし利用して行ってほしいと願います。それが、環境保護にもつながり、未来の子供たちや私たちの未来にもつながっていく。欲しいものが地域にあるということは、本当に大きな意味を持つと思うのです。

私たちの会社の理念は、「人とのかかわり・つながりを最も大切にしています」です。国産・県産材の利用を考え、家具などの販売を始めてから、多くの異業種の方ともお会いする機会がありました。飲食店の方、洋服店の方、雑貨店の方などです。そんな方々が、木を意識していることも少なくありませんでした。そのような「つながり」から、木の良さや、地域の木材を利用する意義などを幅広く発信していくことが今後、もっと重要になってくるのではないかと考えています。

◆まずは祖父が植えてくれた木を 山から出したい

どれだけの国産材・県産材を販売すれば地下水が豊富に湧き上がり、CO₂が多く吸収され、澄んだ空気に入れ替わるのかは正直分かりません。まずは、とにかく本物の木を知ってもらい、使ってもらうこと。そして、今ではまだ手が行きとどいていない祖父が私たちのために植えてくれた木を山から切り出し、供給していきたいと考えています。林道の整備などがなされないと、木を切り出すことは不可能です。需要が少ないため、多額の費用をかけて整備するまでにはまだまだ至りません。何年後になるか分かりませんが、必ず達成したいと思っています。

◆木に囲まれてくつろげる楽しい時間

インテリアショップ&カフェ「ブルック」では、

ブルック (インテリアショップ&カフェ)

〒510-0829 四日市市城西町4-27 (松本街道沿)

TEL : 059-337-8074

<営業時間> インテリアショップ 10:30~19:00

カフェ 11:30~22:00

HP <http://brook.sl.bindsite.jp>



ブルック店内

万古焼などの陶器や、フェアトレード雑貨、オーガニックタオルなど様々な雑貨品も取り扱っています。カフェでは、国産のお肉や地域の野菜を積極的に利用して、私たちがおいしいと思える物を提供しています。あまり硬く考えず、自分たちが良いと思えるものを提供しています。欲しいものを買ったら、それには実は意味があった、というものでない限り普及しないと考えているからです。本物の木に囲まれて、良い香りに包まれている中、家具のデザインを一緒に考えたり、住宅の間取りや、デザインと一緒に考えたりしたい。かわいい小物を見ながら、癒されてほしい。ソファでくつろいでおいしいものを食べながら、お酒を飲んでワイワイと楽しい時間を過ごしてほしい。

自分たちが楽しくないかぎりは、まわりの人やお客様に楽しんでいただくことはできないと考えています。だから、あまり肩肘を張らず、やれることからやっていく。

「私は百万人の人を笑顔にすることを考え生きていきたい。」これは、わたしがこう生きていきたいと思っていることです。「ブルック」を通じて、多くの笑顔と出会っていくことが未来につながると確信しています。

国産・県産の木の良い香りに包まれると、皆さん笑顔になります。私は、店頭でそんな姿を毎日見て過ごしていますから本当です。

